

メッセージ 3

聖なる塗り油としての複合の膏油の内在的な意義と啓示——

手順を経た三一の神の複合の、すべてを含む霊の満ち満ちた予表

聖書：出 30:22-30. I コリント 15:45 後半. ヨハネ 7:37-39. ピリピ 1:19

I. 聖なる塗り油、すなわち「調合する者のわざにしたがって複合された」オリブ油と四つの香料の複合の膏油は、イエス・キリストの霊の満ち満ちた予表です。この霊は、キリストが死と復活を通して成った、手順を経た三一の神の複合の、すべてを含む、命を与える霊です——出 30:22-25. I コリント 15:45 後半. ヨハネ 7:37-39. ピリピ 1:19 :

A. この複合の塗り油の成分の意義は、以下のとおりです :

1. 流れる没薬は、葬りの時に用いられる香料であり (ヨハネ 19:39) 、キリストの尊い死を表徴します (ローマ 6:3) :
 - a. 没薬はまた鎮痛剤として用いられて、死の苦しみを軽減しました。主イエスが十字架につけられていた時に、没薬を混ぜたぶどう酒が与えられたのは、彼の苦痛を軽減させるためでした——マルコ 15:23。
 - b. 没薬はまた不適切な分泌物を出す体をいやすのにも用いることができました。わたしたちの人生の中には、多くの不適切な分泌物がありますが、主の十字架上の死はこの問題を正します。
2. かおり高い肉桂は、キリストの死の甘さと効力を表徴します——ローマ 8:13 :
 - a. 肉桂は、衰弱した心臓を増強するのに処方されました。
 - b. わたしたちがその霊の中の主の死をわたしたちの内なる存在に適用するとき、わたしたちの心は増強されて、わたしたちを主の中で幸いにし喜ばせます——ピリピ 4:4. ネヘミヤ 8:10。
3. におい菖蒲は、沼あるいは泥の場所で上に生長する葦であり、キリストの尊い復活を表徴します——エペソ 2:6. コロサイ 3:1. I ペテロ 1:3。
4. 桂枝は、古代に虫や蛇を駆逐するのに用いられ、キリストの復活の駆逐する力を表徴します。桂枝はすべての邪悪な「虫」を駆逐し、特に古い蛇である悪魔を駆逐します——ピリピ 3:10。
5. オリブ油は、複合の膏油のベースとして、複合の霊のベースとしての神の霊を表徴します——創 1:2。

B. 四という数は人をかしらとする (創 1:26) 被造物を表徴し (エゼキエル 1:5) 、一という数は唯一の神を表徴するので (申 4:35. I テモテ 2:5) 、四つの香料は、神の創造におけるキリストの人性を表徴し、一ヒンのオリブ油は彼の神性を持つ唯一の神を表徴します。こういうわけで、オリブ油と四つの香料のブレンドは、複合の霊における、神と人、神性と人性の複合、ミングリングを表徴します——レビ 2:4 とフットノート 3。

C. オリブ油と四つの香料がすべて、圧搾あるいは切られることの過程を通して用意されたことは、神の霊がキリストの苦難を通して (マタイ 26:36) キリストの霊となったことを表徴します (ローマ 8:9) 。

- D. さらに、四つの香料の分量が、それぞれ五百シケルから成る三つの単位であり、中間の五百シケルが二つの部分に分けられていたことは、復活における三一の神、第二者（御子）が十字架上の死によって「分けられた」ことを表徴します。
- E. 聖書で五は責任の数ですから（マタイ 25:2 とフットノート 1）、複合の膏油の五つの要素と、四つの香料の三つの五百シケルの単位は、三一の神が復活において責任を担うための力、能力であることを表徴します。
- F. 三と五という数は神の建造と関係があるので（参照、創 6:15 のフットノート 2）、複合の膏油におけるこれらの数は、複合の霊の中に神の建造の要素があることを表徴します。
- G. 以上の意義に基づいて、四つの香料とオリーブ油を複合して塗り油を作ることが表徴するのは、キリストの肉体と成ること、人の生活、十字架、復活、昇天の過程を通して、以上に述べた要素と神の霊とのミングリングが、複合の霊を生み出し、神の永遠の住まいを建造するためであるということです。
- II. 複合の膏油、聖なる塗り油は、幕屋とそのすべての調度品、祭壇とそのすべての器具、洗盤とその台、祭司たちを油塗るのに用いられ、神の神聖な定められた御旨のためにこれらすべてのものを神に対して聖とし、分離し、聖別しました——出 30:26-30. I ペテロ 1:2. I コリント 6:11. ローマ 15:16 :**
- A. この膏油が表徴するのは、三一の神が、キリストの肉体と成ること、十字架、復活を通して手順を経て究極的に完成され、すべてを含む複合の霊と成って、彼の選ばれ贖われた人々に到達し、ご自身をもって彼らを油塗り、ご自身を彼らと一にならせ、彼らを彼と一にならせるということです——ヨハネ 20:22. I ヨハネ 2:20, 27. II コリント 1:21. I コリント 6:17。
- B. このような油塗りは、わたしたちの内側の複合の霊の動きであり、わたしたちに適用し、手順を経て究極的に完成された三一の神のすべての要素をわたしたちの内なる存在の中へと加え、わたしたちの内なる人が神聖な要素をもって神聖な命の中で成長し、わたしたちが神とミングリングされて一になるようにします——コロサイ 2:19。
- C. 聖なる塗り油はただ一つの目的のため、すなわち、神の住まいと祭司の体系を油塗るためです（参照、I ペテロ 2:5）。ですから、神の住まいと祭司の体系のためである人たちだけが、複合の、すべてを含む霊を享受することができます。
- III. オリーブ油によって表徴されている神の霊は、もはやただの油ではなく、今やいくつかの成分が複合されている油です。この事に関して、ヨハネ第 7 章 39 節は言います、「イエスはこれを、彼の中へと信じる者たちが受けようとしているその霊について言われたのである。まだイエスの栄光が現されていなかったのも、その霊はまだなかったからである」 :**
- A. この意味は、主の栄光が現される前（彼の復活の前——ルカ 24:26）、複合の霊はまだなかったということです。キリストが復活した後に、そのような霊の複合あるいはブレンディングが完成されました。
- B. この霊は神の霊であったとき、神聖な要素しか持っていませんでした。この霊はキリストの肉体と成ること、十字架、復活を通して、イエス・キリストの霊と成

った後、神聖な要素と人に属する要素の両方を持ち、キリストの肉体と成ること、十字架、復活のすべての本質と実際を伴うようになりました。

- C. 聖なる塗り油が予表するこのすべてを含む複合の霊は、イエス・キリストの霊の満ちあふれる供給であり、キリストのからだの供給です。この供給によって、わたしたちはからだの中で、からだを通して、からだのためにキリストを生きて、キリストを大きく表現することができます——ピリピ 1:19-21 前半。

IV. わたしたちは信者として、複合の膏油で、すなわちすべてを含む霊で油塗られています。詩篇第 133 篇 2 節は、塗り油がどのようにアロンの頭から彼の髭に流れ下り、それから彼の衣のすそに流れ下ったかを描写しています。これは、からだ全体がその霊で油塗られていることを表徴します：

- A. 一の立場とは、聖なる塗り油としての手順を経た三一の神、複合の霊が、わたしたちの存在に適用されることです——詩 133:1-3。
- B. わたしたちは膏油によって「塗られる」ために（I ヨハネ 2:20, 27）、召会と一でなければなりません。このようにすれば、わたしたちは自然に塗り油とそのすべての要素の適用を享受します。この膏油が適用されることによって生み出される一は、何とすばらしいことでしょう！